

平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社エボラブルアジア 上場取引所 東
 コード番号 6191 URL http://www.evolableasia.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉村 英毅
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)柴田 裕亮 (TEL)03(3431)6191
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	2,498	43.5	385	32.1	359	35.2	248	55.4
28年9月期第2四半期	1,741	—	292	—	265	—	159	—

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 305百万円(75.9%) 28年9月期第2四半期 173百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年9月期第2四半期	14	89	14	09
28年9月期第2四半期	11	28	10	62

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	5,174	49.1	2,682	49.1	—	—
28年9月期	4,841	47.0	2,371	47.0	—	—

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 2,542百万円 28年9月期 2,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末配当については、実施する予定ですが、金額は現時点で未定であります。

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,147	53.7	1,001	61.9	961	68.2	594	74.8	35	66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年9月期2Q	16,731,900株	28年9月期	16,682,400株
29年9月期2Q	一株	28年9月期	一株
29年9月期2Q	16,683,562株	28年9月期2Q	14,175,008株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、平成27年12月18日付で普通株式1株につき300株、平成28年8月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は内外の状況変化等により、本資料の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社はオンライン旅行業を主軸として、業績を拡大してまいりました。当社グループを取り巻く環境につきましては、旅行業におけるインターネットに占める取扱高の割合は年々上昇しており、平成12年において0.64%に過ぎなかった旅行会社のインターネット販売比率は平成24年には9.00%（数字が語る旅行業2014 日本旅行業協会）に達し、緩まることなく益々加速しております。また、訪日外国人観光客は過去最高の2,404万人を記録し、2016年3月に決定した「明日の日本を支える観光ビジョン」における2020年の目標である4,000万人に向け、順調に推移しております。

このような状況のもと、当社はオンライン旅行代理店として、国内航空券販売を主軸に、引き続き業績を拡大して参りました。また、オンライン旅行事業におけるノウハウを活かし、訪日旅行者を対象としたサービス（民泊・シェアリングエコノミー、両替サービス、キャンピングカーレンタル等）を引き続き推進しております。

平成24年より開始したITオフショア開発事業においては、ベトナムにおけるラボ型開発を主軸に、多業種にわたり順調に顧客先を獲得し、雇用エンジニア数を増加させ、平成29年3月現在は600名規模まで成長しております。現状における日本のオフショア開発割合は僅か1,000億円程度（日本のソフトウェア産業とオフショア開発の動向（財）国際情報化協力センター）に過ぎず、国内の受託ソフトウェア開発市場の市場規模が10兆円程度（情報サービス産業の現状 経済産業省調査）であることを鑑みれば、まだまだ拡大の余地があると考えられます。

さらに、投資事業として、当社の既存事業とのシナジーが見込める領域において、資本業務提携を推進しており、平成29年3月現在は全5社に対して資本参画を行っております。

このような環境の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は2,498,179千円（前年同期比43.5%増）、営業利益は385,793千円（前年同期比32.1%増）、経常利益は359,433千円（前年同期比35.2%増）、税金等調整前四半期純利益359,433千円（前年同期比35.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は248,541千円（前年同期比55.4%増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

①オンライン旅行事業

オンライン旅行事業では、BtoCサービス（一般消費者向けの旅行商材の横断検索、比較サイトの運営）、BtoBtoCサービス（提携先企業のブランドにてトラベルコンテンツを提供する事業）、BtoBサービス（他社旅行会社に対するホールセール事業）、BTMサービス（企業の出張に係る社内承認手続き及び手配を当社のクラウドサービスにより一元管理する事業）を提供しております。

BtoCサービスにおいては、新規顧客獲得のためにリスティング広告等施策の強化、リピーター増加施策のためにUIの改善等を実施したことが寄与し、利用者が順調に増加致しました。

BtoBtoCサービスにおいては、主要取引先のニーズに合致したサービスを提供し、取引先において使用頻度を高めてもらうために、取引先とのコミュニケーションを強化したことが寄与し、利用額が増加致しました。

BtoBサービスにおいては、業界全体の動向や取引先の施策に影響を受ける部分が大きく、売上高が前期比75%と軟調に推移しました。

BTMサービスにおいては、基本的に顧客企業数の増加及び利用率の増加と連動して売上が増加するビジネスモデルであるため、営業人員の追加、及び既存顧客中の利用率が相対的に低い顧客の掘り起し等を実施したことにより成長しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のオンライン旅行事業の売上高は1,851,631千円、セグメント利益は587,236千円となりました。

②ITオフショア開発事業

ITオフショア開発事業では、ベトナムのホーチミン、ハノイ及びダナンにおいて、主にEコマース会社、Webソリューション会社、ゲーム会社、システム開発会社等を顧客として、ラボ型の開発サービスを提供しております。

当社のラボ型開発モデルは、顧客ごとに専属のスタッフを都度新規採用してチームを組成する点にあり、開発過程においては、当社グループの開発サポートチームからサポートを実施しながら、顧客が随時ラボの開発状況を確認することが可能なスタイルとなっております。当該スタイルにおいては、専属のスタッフの中長期的なアサインを前提としておりますので、採用段階でいかに顧客のニーズに合致した人材を採用するか、各エンジニアのモチベーションをいかに高めていくかが開発の成否を左右します。

また、基本的にラボ型開発は人月単価×人員数によって顧客に請求を行うビジネスモデルであるため、新規ラボの開設数、既存ラボの増減員数が売上に大きく影響を与えます。

当第2四半期連結累計期間においては、①営業人員のトレーニングによる営業力強化、②エンジニアのモチベーション向上のための各ラボの顧客管理、マネジメントを行うラボマネージャーの増員及びトレーニング等の施策が寄与し、エンジニアの人員数が順調に増加いたしました。

なお、ホーチミンにおいては顧客企業から駐在員を派遣して頂いてラボに常駐して頂くスキーム、ハノイでは顧客企業が日本から遠隔でラボの開発状況の確認ができるスキームを中心に、各業界向け（例えばゲーム業界向け）に特化した開発体制を整えたことにより、より顧客のニーズに合致した開発環境作りを強化し、顧客満足度の向上を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のオフショア事業の売上高は695,571千円、セグメント利益は59,276千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ333,111千円増加し5,174,755千円となりました。これは主に、現金及び預金が151,187千円増加したこと、受取手形及び売掛金が148,712千円減少したこと、建物が68,689千円増加したこと、ソフトウェアが151,712千円増加したこと、差入保証金が87,636千円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ22,011千円増加し2,492,294千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が99,874千円減少したこと、未払金が79,968千円増加したこと、未払費用が34,147千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ311,100千円増加し、2,682,461千円となりました。これは主に、利益剰余金が248,541千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月14日の「平成28年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社には該当しておりませんが、第1四半期において子会社のEVOLABLE ASIA GLOBAL VIETNAM COMPANY LIMITEDを設立し、連結の範囲に含めております。当第2四半期において子会社の株式会社AirTrip Exchangeを設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(営業投資有価証券について)

当社は第1四半期連結会計期間より、投資事業を開始しております。これに伴い、従来、連結貸借対照表上、固定資産の「投資有価証券」に計上していた投資育成目的の有価証券を流動資産の「営業投資有価証券」に計上しております。

これに伴い、前連結会計年度末の「投資有価証券」のうち、35,100千円を「営業投資有価証券」に振り替えております。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,356,432	2,507,620
受取手形及び売掛金	1,104,591	955,879
営業投資有価証券	-	109,835
商品及び製品	274,325	63,504
繰延税金資産	19,046	17,245
未収入金	129,823	143,125
その他	140,830	208,012
貸倒引当金	△450	△650
流動資産合計	4,024,599	4,004,571
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	18,662	87,351
車両運搬具（純額）	223	7,075
工具、器具及び備品（純額）	19,115	24,498
建設仮勘定	2,500	35,000
有形固定資産合計	40,501	153,926
無形固定資産		
のれん	102,976	89,238
ソフトウェア	202,742	354,454
無形固定資産合計	305,719	443,693
投資その他の資産		
投資有価証券	43,000	57,368
繰延税金資産	6,273	6,273
差入保証金	409,193	496,829
破産更生債権等	37,313	25,324
その他	12,358	12,093
貸倒引当金	△37,313	△25,324
投資その他の資産合計	470,824	572,565
固定資産合計	817,044	1,170,184
資産合計	4,841,644	5,174,755

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,293,317	1,193,443
短期借入金	225,139	235,184
未払金	311,670	391,639
未払費用	87,287	121,435
未払法人税等	134,102	135,006
賞与引当金	46,447	31,203
ポイント引当金	3,868	4,572
株主優待引当金	15,000	26,646
1年内返済予定の長期借入金	19,572	19,458
為替予約	4,123	-
その他	140,089	160,476
流動負債合計	2,280,618	2,319,066
固定負債		
長期借入金	87,288	77,616
長期預り保証金	102,376	95,612
固定負債合計	189,664	173,228
負債合計	2,470,283	2,492,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,019,927	1,022,636
資本剰余金	824,927	827,636
利益剰余金	444,870	693,411
株主資本合計	2,289,724	2,543,684
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△2,850	1,186
為替換算調整勘定	△10,629	△2,424
その他の包括利益累計額合計	△13,480	△1,237
新株予約権	206	206
非支配株主持分	94,910	139,807
純資産合計	2,371,360	2,682,461
負債純資産合計	4,841,644	5,174,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,741,161	2,498,179
売上原価	328,579	396,456
売上総利益	1,412,582	2,101,723
販売費及び一般管理費	1,120,574	1,715,929
営業利益	292,008	385,793
営業外収益		
受取利息	401	3,690
為替差益	-	3,752
貸倒引当金戻入益	1,374	-
持分法による投資利益	-	468
その他	1,314	991
営業外収益合計	3,089	8,903
営業外費用		
支払利息	5,835	5,017
為替差損	3,116	-
貸倒引当金繰入額	-	1,974
上場関連費用	18,965	21,900
その他	1,237	6,370
営業外費用合計	29,154	35,263
経常利益	265,943	359,433
特別利益		
固定資産売却益	1,034	-
特別利益合計	1,034	-
特別損失		
固定資産売却損	810	-
特別損失合計	810	-
税金等調整前四半期純利益	266,168	359,433
法人税等	79,533	73,877
四半期純利益	186,635	285,556
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,730	37,014
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,904	248,541

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	186,635	285,556
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△3,918	4,036
為替換算調整勘定	△8,937	16,088
その他の包括利益合計	△12,856	20,125
四半期包括利益	173,778	305,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,427	260,783
非支配株主に係る四半期包括利益	22,351	44,897

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	266,168	359,433
減価償却費	40,827	58,414
引当金の増減額 (△は減少)	△26,624	△18,047
受取利息及び受取配当金	△401	△3,690
支払利息	5,835	5,017
上場関連費用	18,965	21,900
持分法による投資損益 (△は益)	—	△468
有形固定資産売却損益 (△は益)	△224	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△112,249	227,713
たな卸資産の増減額 (△は増加)	33,494	210,821
仕入債務の増減額 (△は減少)	118,471	△118,680
差入保証金の増減額 (△は増加)	1,684	△23,594
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	8,871	△14,135
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	—	△74,735
その他資産の増減額 (△は増加)	△82,681	△57,922
その他負債の増減額 (△は減少)	35,144	64,936
小計	307,281	636,962
利息及び配当金の受取額	401	3,690
利息の支払額	△6,324	△5,003
法人税等の支払額	△72,225	△71,219
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,133	564,430
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△49,000
有形固定資産の取得による支出	△13,413	△131,783
有形固定資産の売却による収入	1,034	—
無形固定資産の取得による支出	△47,025	△180,298
貸付けによる支出	—	△3,000
貸付金の回収による収入	—	600
敷金の差入による支出	—	△75,990
敷金の回収による収入	—	13,514
定期預金の払戻による収入	—	110,188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,404	△315,768
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△98,511	7,929
長期借入金の返済による支出	△9,102	△9,786
株式の発行による収入	1,356,994	5,418
上場関連費用の支出	△1,090	△4,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,248,290	△437
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,510	4,142
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,413,508	252,367
現金及び現金同等物の期首残高	608,984	2,225,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,022,493	2,477,620

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	オンライン 旅行	ITオフショア 開発	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,189,502	547,880	3,779	1,741,161	—	1,741,161
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	62,083	—	62,083	△62,083	—
計	1,189,502	609,963	3,779	1,803,244	△62,083	1,741,161
セグメント利益又は損 失(△)	430,583	45,349	△42	475,889	△183,881	292,008

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△183,881千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	オンライン 旅行	ITオフショア 開発	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,851,631	645,776	771	2,498,179	—	2,498,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	49,795	—	49,795	△49,795	—
計	1,851,631	695,571	771	2,547,975	△49,795	2,498,179
セグメント利益又は損 失(△)	587,236	59,276	△5	646,508	△260,714	385,793

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△260,714千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。